

# 平成30年 事業報告書

平成30年1月1日から 平成30年12月31日まで

特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会

## 1 事業の成果

平成30年は、プロコンを中心として教育界、情報処理産業界をはじめ地域住民や大学生など不特定多数が参加できる全国高専プロコン大会の共催、本協会が主催する国際プロコン大会への海外チームの招聘、外部講師を招き産学連携事業などを積極的に実施しました。また競技アイデア募集企画を開催し、現役高専生だけでなくプロコンOBからも参加を得ることができました。広報活動としましては、昨年に引き続き各チームの紹介動画を加えた動画共有サイトにおけるライブ配信を充実させて会場の生の雰囲気や広く公開し大きな反響を呼びました。また、プロコンコミックを継続し、プロコンに参加する学生達の様子を連載することができました。

## 2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 場所	従事者 の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
高専プロコン 運営事業	全国高専プロコンの運営 (予選)	6月23日	東京都	30名	応募学生・教員 および審査委員 700人	23,107
	全国高専プロコンの運営 (本選)	10月27日 ～ 10月28日	徳島市	50名	全国高専からの コンテスト出場 学生・教員及び 産業界からの 参加者一般市民 など約1,602名	
国際コンテスト 運営事業	国際プロコン大会開催	10月27日 ～ 10月28日	徳島市	4名	国外からの 参加学生・教員 23名	5,681
産学連携事業	高専プロコン連携 シンポジウム	6月22日	石川県	30名	教職員・学生な ど約632名	60
広報事業	地方新聞連合会（徳島新聞他 18紙広告掲載）	9月～ 12月	/			500
	プロコンコミック（13～19 話）のWeb連載	1月～ 12月	/			1,038
合 計						30,386

## 平成30年事業報告（第11期総括）

平成30年は第11期を迎え無事に例年通り事業を推進することができました。  
また、NAPROCK第10回国際大会には高専チームに加え海外から8チームが参加し、各チームとも積極的に参加されました。また高度な技術を競いつつ、また国内教員・学生とも幅広い交流を深めることができました。

各企業・団体・機関のご協力ご賛同を得られ継続的に各事業を推進することができました。

### 主な事業活動

#### 【高専プロコン運営事業】

- 平成30年6月23日（土）予選審査会 東京都立産業技術高専品川キャンパス
- 平成30年10月27日（土）～28日（日）本選 徳島県徳島市 アスティとくしま

	第29回(平成30年) 阿南大会		第28回(平成29年) 大島大会	
	チーム数	参加校数	チーム数	参加校数
本選参加者数	1,602		1,111	
参加学生（含海外）	391		364	
参加学生（選手以外）	90		102	
引率教員（含海外）	96		99	
大会役員、高専関係者	57		54	
後援団体	13		0	
協賛企業	177		164	
審査委員	33		27	
プロコン委員	37		18	
報道関係者	8		10	
小計	902		838	
一般来場者	275		102	
主管校教職員	122		85	
主管校学生	303		86	
応募数	168	61	181	61
課題部門	56	41	54	39
自由部門	52	40	63	44
競技部門	60		64	

#### 第29回(平成30年)阿南大会受賞校

部門	主な受賞	高専名
課題部門	文部科学大臣賞（最優秀賞）	鳥羽商船高専
	優秀賞	阿南高専
	特別賞	豊田高専
	特別賞	津山高専
	特別賞	福井高専

	特別賞	沖縄高専
	DMM.com ラボ企業賞	沖縄高専
	日立製作所企業賞	阿南高専
	アバナード企業賞	豊田高専
	さくらインターネット企業賞	阿南高専
	富士通企業賞	東京高専
	シーエーシー企業賞	仙台高専（広瀬）
自由部門	文部科学大臣賞（最優秀賞）	香川高専（詫間）
	優秀賞	香川高専（高松）
	特別賞	鈴鹿高専
	特別賞	鳥羽商船高専
	特別賞	阿南高専
	東芝デジタルソリューションズ企業賞	トゥンク・アブドゥル・ラフマン大学
	チームラボ企業賞	香川高専（詫間）
	セゾン情報システムズ企業賞	香川高専（詫間）
	トヨタコミュニケーションシステム企業賞	広島商船高専
	競技部門	文部科学大臣賞（優勝）
準優勝		東京高専
第三位		阿南高専
第三位		福井高専
特別賞		佐世保高専
特別賞		久留米高専
特別賞		大阪府立高専
競技アイデア募集企画		最優秀賞
	優秀賞	長野高専 OB
	優秀賞	石川高専
	特別賞	熊本高専（八代）
	特別賞	仙台高専（名取）
	特別賞	熊本高専（八代）

【 国際プログラミングコンテスト運営事業 】

- 平成30年10月27日(土)～28日(日) 本選 徳島県徳島市 アスティとくしま  
ハノイ国家大学（競技部門）、モンゴル科学技術大学（競技部門）、  
ペトロナス工科大学（競技部門）、香港 VCT（競技部門）、  
シンガポール・ポリテクニク（自由部門）、  
トゥンク・アブドゥル・ラフマン大学（自由部門）

【受入・支援】 NPO 法人

キングモンクット工科大学ラカバン校（自由部門）

【受入・支援】久留米高専

国立聯合大学（自由部門）

【受入・支援】阿南高専

部 門	主な受賞	学校名
自由部門	Grand Prize	香川高専（詫間）
	Second Prize	香川高専（高松）
	Special Prize	シンガポール・ ポリテクニク
	Special Prize	キングモンクット工科 大学 ラカバン校
	Special Prize	国立聯合大学（台湾）
	Special Prize	トゥンク・アブドゥ ル・ラフマン大学
競技部門	Champion	仙台高専（名取）
	First Runner-up Prize	東京高専
	Special Prize	ハノイ国家大学
	Special Prize	モンゴル科学技術大学
	Special Prize	ペトロナス工科大学
	Special Prize	香港 VTC

#### 【産学連携事業】

##### ➤ 高専プロコン連携シンポジウム

日 時：平成 30 年 6 月 22 日（金）

会 場：石川高専 GI-Net で全国の高専に発信

講演名：「会社が求める人材と高専プロコン」

講演者：チームラボ株式会社 取締役 CTO 田村 哲也 氏

講演名：「高専生が IT ベンチャーで働くって？」

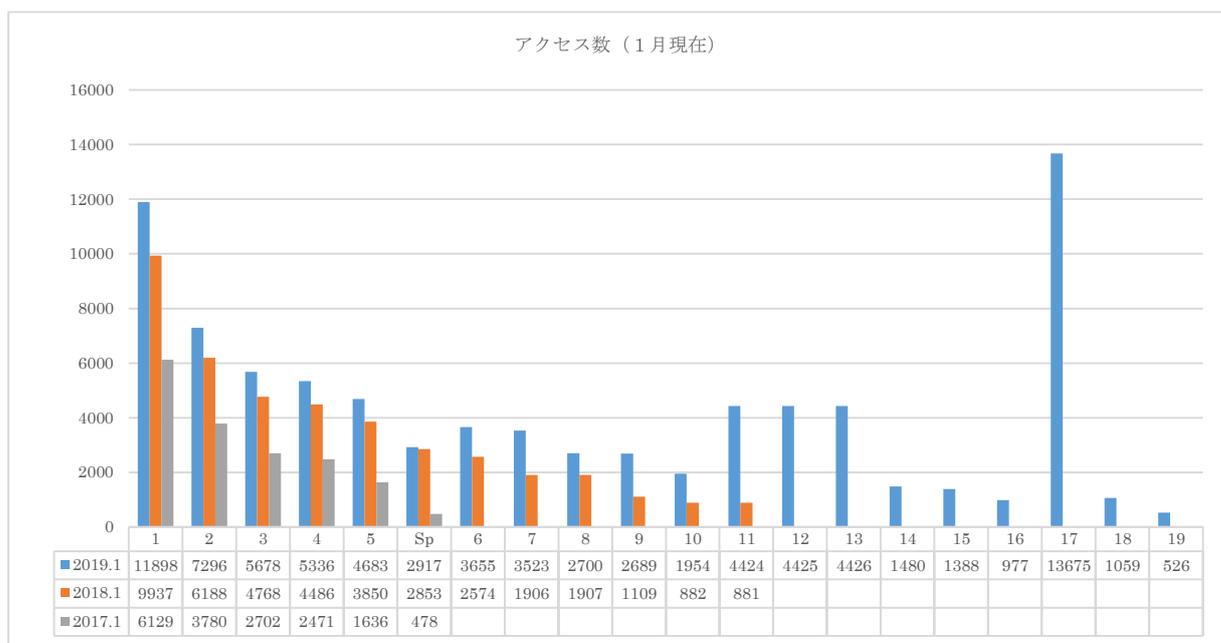
講演者：合同会社 DMM.com 動画配信開発部 矢野 完人 氏

参加者：39 校 632 名（教職員・学生）

感想 満足(24.8%) やや満足(47.5%) 普通(21.8%) やや不満(5.9%) 不満(0%)

【広報活動事業】

1. 高専プロコン公式サイト、NAPROCK 公式サイト、Facebook、Twitter 等の運営  
シンポジウム、プロコン本選など事業関連の情報を SNS 等を通じて公開した。
2. プロコンコミックの連載（3年目）  
高専プロコンを題材としたコミック「GO!GO!プロコンガール」の連載を継続し、2年目の大会を終了した。あと1回で完結の予定である。



3. メディアスポンサーの対応  
YAHOO!JAPAN、BCN、NIKKEI、徳島新聞、BTL の 5 社に協賛をいただき、記事の掲載をいただいた。

## プロコン阿南大会（2018年）報道関係リスト（一部）

2018.02.08	「BCN IT ジュニア賞 2018」表彰式で若者と No.1 企業が交流 IT ジュニアの広場
2018.04.09	東京高専シンクロアスリート おはよう日本関東甲信越
2018.08.30	高専に任せろ！つながったワー 日経新聞
2018.09.19	高専プロコン開幕まであと 40 日！ラストスパートに腕を撫す IT ジュニアの広場
2018.10.11	県代表・阿南地元 V 目標 徳島新聞
2018.10.12	高専に任せろ！つながったワー 日経新聞
2018.10.20	全国高専プロコンがやってくる！！ 徳島新聞
2018.10.23	高専プロコンがいよいよ開幕 BCN
2018.10.28	ICT 活用高専生競う（地方新聞連合会：徳島新聞他 18 紙(※)に掲載)
2018.10.29	全国高専プログラミング大会競技部門阿南高専過去最高 3 位 徳島新聞
2018.10.30	高専プログラミング大会鳥羽商船が最優秀賞 徳島で開催 日本経済新聞
2018.11.03	鳥羽商船、全国プロコン最優秀賞 3 連覇 みんなの経済新聞
2018.11.12	全国高専第 29 回プログラミングコンテスト開催 文教ニュース
2018.11.30	日経産業新聞 高専に任せろ 高専生向け特別版（各高専に配布済み）
2018.12.25	日本経済新聞 高専特集

※ 地方新聞連合会で掲載された地方 18 紙

東奥日報社、岩手日報社、河北新報社、福島民報社、福島民友新聞社、  
岐阜新聞社、北日本新聞社、福井新聞社、京都新聞社、神戸新聞社、山陰中央新報社、  
みなと山口合同新聞社、四国新聞社、西日本新聞社、佐賀新聞社、宮崎日日新聞社、  
沖縄タイムス社、琉球新報社